

ふるさと探訪

第71回 土居のクスノキ



丹原文化会館の北東方向の田園の中に、周囲を見守るようにそびえる一本の木。市内最大、県内でも三番目の大樹といわれ、「土居の大クス」の名で親しまれているクスノキの巨木がそれです。



樹勢はますます盛んで枝振りも見事です

推定樹齢は千年を超え、根回り14・3呎、目通り11・4呎、樹高は25呎ほどあります。地上約1呎で幹は4本に分岐していますが、その様はまるで横たわった大きなラクダのコブが、いつのまにか空に向かって伸びたかのようにも見えます。

大正11年、当時の田野村北田野部落協議員会がこの木を永久に伐採しないことを決議し、永く保存することを申し合わせました。また、昭和57年には旧丹原町の天然記念物としても指定を受けています。根元には「烏瑟沙摩明王」を祭る祠や、ブランコ・ベン



木陰で休んでいたラクダが巨木になったよう…

チなどがあり、今でも地域の人たちに愛され、大切に守り続けられています。

所在地 丹原町北田野662

